

業況DIの現況判断は▲47、先行きは1p悪化の▲48を見込む ～新型コロナウイルス「第5波」の影響続く～

【今回調査の結果概要】

- 業況DIの現況判断（令和3年7～9月期）は▲47で、先行きは1ポイント（以下、p）悪化の▲48。
- 項目別では売上高DIの現況判断が▲45、営業利益DIは▲51となった。先行きは、売上高DIが6p悪化の▲51、営業利益DIは3p悪化の▲54。
- 労働力DIの現況判断は▲24、先行きは3p下落の▲27。

（注）DIについて

業況判断、売上及び利益の増減、設備、労働力、在庫の過不足などについて、以下の式により、各項目のDIを算出。

$$DI = (\text{「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」とする回答企業の構成比}) - (\text{「悪い」、「減少」、「下落」、「不足」とする回答企業の構成比})$$

例) 業況が良いと回答した企業が15%、普通と回答した企業が64%、悪いと回答した企業が21%
 ⇒ 15（良いと回答）－ 21（悪いと回答） で 業況判断DIは▲6（マイナス6）

【調査の対象・期間・方法等】

1. 調査対象企業	人吉市内会員事業所 219 事業所
2. 調査時期	令和3年8月20日（金）～9月6日（月）
3. 対象期間	令和3年 4月～6月（令和3年度 第1四半期） 同 年 7月～9月（同 年度 第2四半期）
4. 回答状況	95 事業所（回収率 43.4%）

【回答企業数と構成比】

業 種	企業数 (社)	構成比 (%)	業 種	企業数 (社)	構成比 (%)
製造業	14	14.7	飲食業	5	5.3
建設業	14	14.7	サービス業	23	24.2
観光関連業	10	10.5	業種不明	4	4.2
卸・小売業	25	26.3	全 体	95	100.0

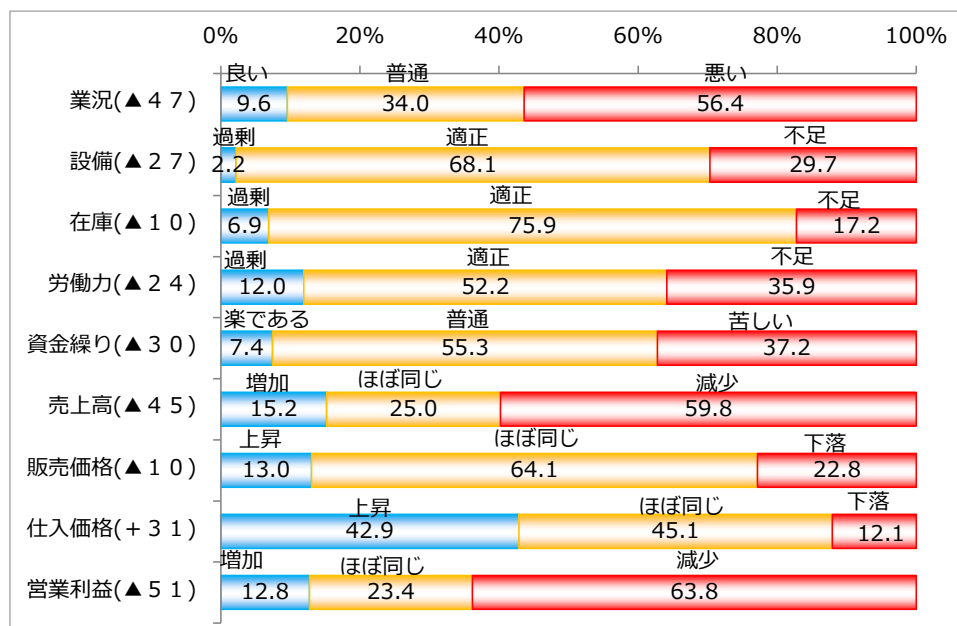
1. 概況

各項目の現況判断の回答結果は図表1のとおりである。

業況は「悪い」という回答が56.4%で最も多く、「良い」が9.6%、「普通」が34.0%となっている。業況D Iは▲47となっており、前期（令和2年10～12月期）より12p悪化している。

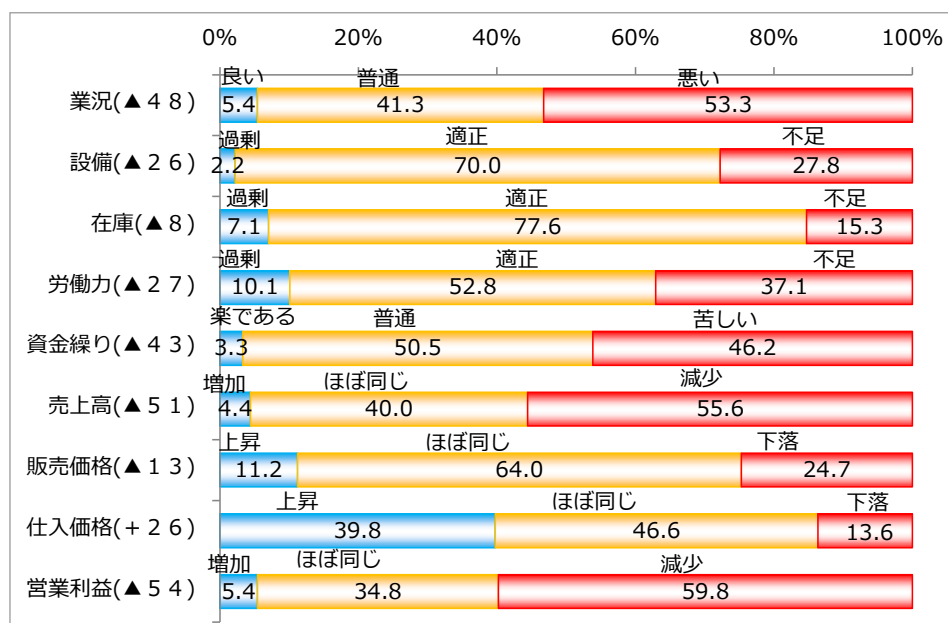
項目別にみると、売上高D Iは▲45で、減少という回答が59.8%となっている。また、営業利益D Iは▲51で、減少という回答が63.8%となるなど、新型コロナウイルス「第5波」の影響等が続いていることがうかがえる。一方、労働力D Iは▲24で人手不足の状況が続いている。

図表1 項目別の現況判断



※項目名の () 内の数字はそれぞれの調査項目のD I

(参考) 項目別の先行き判断



2. 調査項目ごとの状況

(1) 業況D I

業況D Iの現況判断は▲47で前期比12p悪化した。業種別にみると、前期に比べて、「製造業」や「飲食業」で改善しているが、その他の業種では悪化している。

先行きは1p悪化の▲48で、業種別では「観光関連業」や「サービス業」で改善、「製造業」と「建設業」で横ばい、その他の業種で悪化している。

図表2 業況D I

	2020年 10~12月 期	2021年 1~3月期	前回調査比	2021年 4~6月期	前回調査比	2021年 7~9月期	前回調査比	2021年 10~12月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲41	▲47	↓	▲35	↑	▲47	↓	▲48
製造業	▲57	▲64	↓	▲71	↓	▲64	↑	▲64	→
建設業	▲20	▲7	↑	7	↑	0	↓	0	→
観光関連業	▲60	▲100	↓	▲89	↑	▲90	↓	▲89	↑
卸・小売業	▲48	▲50	↓	▲12	↑	▲44	↓	▲48	↓
飲食業	▲60	▲100	↓	▲75	↑	▲50	↑	▲100	↓
サービス業	▲15	▲15	→	▲30	↓	▲48	↓	▲36	↑

(2) 売上高D I

売上高D Iの現況判断は▲45で、前期比16p悪化した。業種別にみると、「観光関連業」で改善、「製造業」と「飲食業」で横ばい、その他の業種で悪化している。

先行きは6p悪化の▲51で、業種別では「卸・小売業」と「サービス業」で改善、「建設業」は横ばい、その他の業種で悪化している。

図表3 売上高D I

	令和2年 10~12月 期	令和3年 1~3月期	前回調査比	令和3年 4~6月期	前回調査比	令和3年 7~9月期	前回調査比	令和3年 10~12月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲45	▲47	↓	▲29	↑	▲45	↓	▲51
製造業	▲57	▲64	↓	▲57	↑	▲57	→	▲69	↓
建設業	▲13	▲20	↓	7	↑	0	↓	0	→
観光関連業	▲60	▲100	↓	▲88	↑	▲60	↑	▲89	↓
卸・小売業	▲44	▲44	→	▲8	↑	▲50	↓	▲48	↑
飲食業	▲82	▲100	↓	▲75	↑	▲75	→	▲100	↓
サービス業	▲32	▲20	↑	▲22	↓	▲48	↓	▲45	↑

(3) 営業利益D I

営業利益D Iの現況判断は▲51で前期比11p悪化した。業種別にみると、前期に比べて、「観光関連業」で改善、「製造業」と「飲食業」で横ばい、その他の業種で悪化している。

先行きは3p悪化の▲54となった。業種別では、改善した業種はなく、「製造業」と「建設業」、「卸・小売業」で横ばい、その他の業種では悪化している。

図表4 営業利益D I

	令和2年 10~12月 期	令和3年 1~3月期	前回調査比	令和3年 4~6月期	前回調査比	令和3年 7~9月期	前回調査比	令和3年 10~12月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲ 48	▲ 52	↓	▲ 40	↑	▲ 51	↓	▲ 54
製造業	▲ 57	▲ 64	↓	▲ 57	↑	▲ 57	→	▲ 57	→
建設業	▲ 21	▲ 33	↓	7	↑	▲ 7	↓	▲ 7	→
観光関連業	▲ 60	▲ 100	↓	▲ 88	↑	▲ 80	↑	▲ 89	↓
卸・小売業	▲ 52	▲ 48	↑	▲ 28	↑	▲ 56	↓	▲ 56	→
飲食業	▲ 64	▲ 100	↓	▲ 75	↑	▲ 75	→	▲ 100	↓
サービス業	▲ 37	▲ 26	↑	▲ 48	↓	▲ 52	↓	▲ 55	↓

(4) 労働力D I

労働力D Iの現況判断は▲24で、前期比2p上昇した。コロナ禍の影響は続いているが、依然として人手不足の状況がうかがえる。業種別では、「製造業」と「飲食業」で低下、「建設業」と「卸・小売業」で横ばい、その他の業種では上昇している。

先行きは3ポイント低下の▲27となった。業種別では、「製造業」と「建設業」、「サービス業」で低下、「卸・小売業」で横ばい、その他の業種で上昇している。

図表5 労働力D I

	令和2年 10~12月 期	令和3年 1~3月期	前回調査比	令和3年 4~6月期	前回調査比	令和3年 7~9月期	前回調査比	令和3年 10~12月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲ 36	▲ 28	↑	▲ 26	↑	▲ 24	↑	▲ 27
製造業	▲ 7	0	↑	21	↑	14	↓	7	↓
建設業	▲ 57	▲ 33	↑	▲ 46	↓	▲ 46	→	▲ 54	↓
観光関連業	▲ 60	▲ 60	→	▲ 71	↓	▲ 44	↑	▲ 25	↑
卸・小売業	▲ 33	▲ 21	↑	▲ 20	↑	▲ 20	→	▲ 20	→
飲食業	▲ 33	▲ 22	↑	▲ 50	↓	▲ 60	↓	▲ 50	↑
サービス業	▲ 42	▲ 45	↓	▲ 27	↑	▲ 18	↑	▲ 33	↓

3. 地域経済や業界動向等に関する自由記述

業種	コメント
製造業	お土産市場は当社の予想に比べ著しく回復が遅れている。
	コロナの影響でイベント等がほぼ中止となり、ポスターやチラシ等が受注できません。それに加え官公庁等の印刷製本費の予算がかなり削減されているようです。
建設業	官公庁および民間ともに、復旧・復興工事が増加している。労働力不足は常態化しているが、忙しい状態が継続している。
	従業員数が増えたので仕事も進むようになりました。天候が悪い日が多く、休業せざるを得ないときもありました。仕入れ価格の値上げが目立ちます。
	当社は建築設計監理を行っておりますが、景気動向は殆ど変化がありません。特に人吉・球磨地方は、豪雨災害の復旧・復興で、ここ数年忙しいと思います。
卸・小売業	原材料費の値上げが続き利益が減少。10月からの最低賃金上昇が今後の課題。
	コロナ関連の影響がじわじわと出てきた感じがあります。
	仕入れ価格UPでも、なかなか商品代金を上げられず、雨が続き品不足。天候不良で手に入りにくくなっている商品もあります。
	令和2年7月豪雨災害での得意先の閉店。また、まん防による得意先の時短営業と休業の影響により厳しい状況が続いています。
観光関連業	29年間の事業の中で最悪な状態です。どうにか水害からは再スタートが出来ましたがこれからが本番です。
	4月下旬に第4波、7月下旬からの第5波で業績が上がらない。飲食業支援の為に、テイクアウト商品の販売促進及び、感染対策認証店への来店促進策等、こまめに対策を打っていただきたい。
	令和2年7月豪雨にて被災し休業中。
飲食業	当社は飲食店を経営しておりますが、昨年7月からの豪雨災害で大規模半壊という大変な状態になり、今なお休業中です。今年10月からオープン予定です。
サービス業	災害復興には相当な援助が必要と思う。それに左右される企業も多いはず。

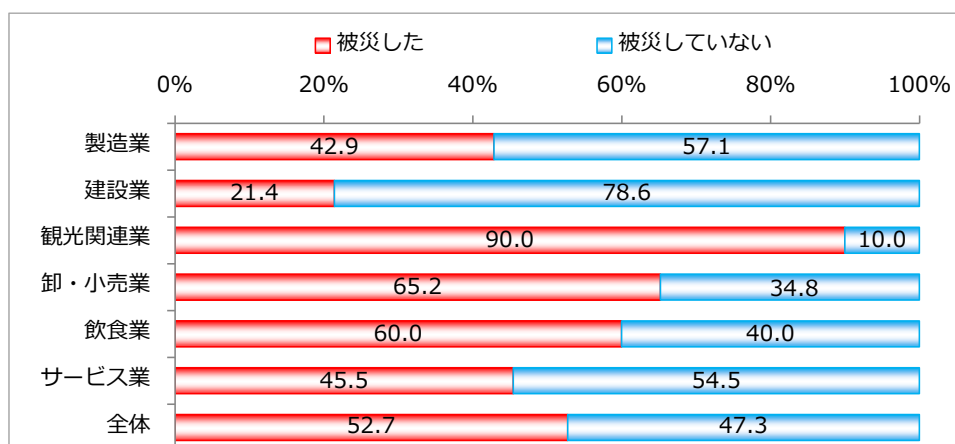
4. 特別テーマ「令和2年7月豪雨災害の影響について」

(1) 被災状況

昨年7月の「令和2年7月豪雨」による店舗・事務所等の被災状況を尋ねたところ、「被災した」という回答が52.7%で、「被災していない」が47.3%となった。

業種別にみると、「被災した」という回答は「観光関連業」が90.0%で最も高く、以下、「卸・小売業」(65.2%)、「飲食業」(60.0%)が続いている。一方、「被災した」という回答が最も低かったのは「建設業」の21.4%であった。

図表6 「令和2年豪雨災害」による被災の有無

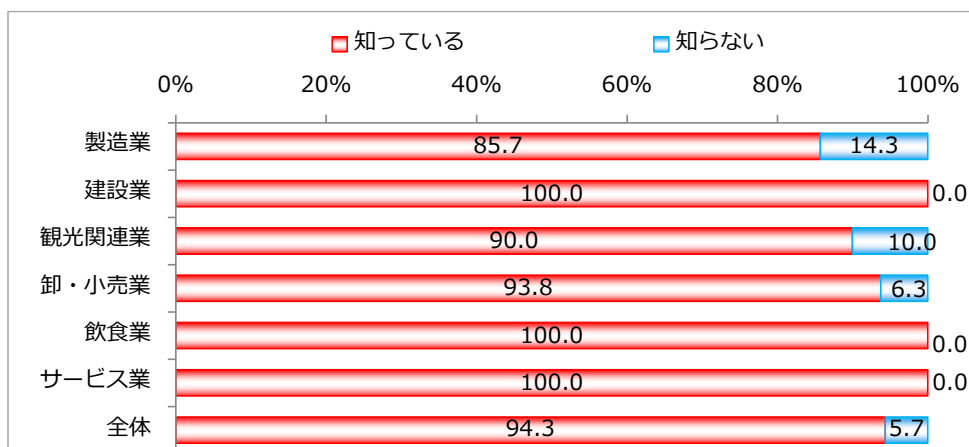


(2) 「なりわい再建支援補助金」の認知度

「令和2年7月豪雨」で被災した事業者者に「なりわい再建支援補助金」の認知度を尋ねたところ、「知っている」という回答が94.3%で、「知らない」という回答は5.7%にとどまった。

業種別にみると、「建設業」、「飲食業」、「サービス業」ではすべての事業者が「知っている」と回答している。最も低かった「製造業」でも認知度は85.7%にのぼった。

図表7 「なりわい再建支援補助金」の認知度



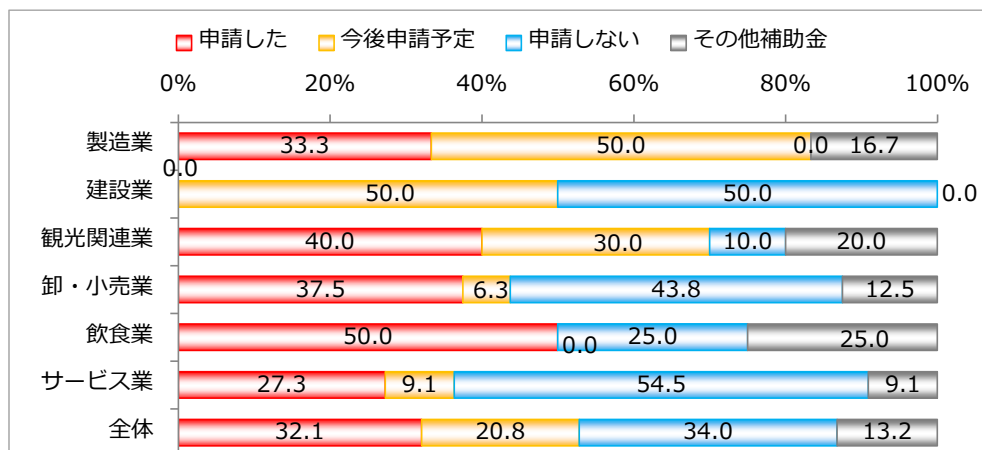
(3) 「なりわい再建支援補助金」の申請状況

被災事業者に「なりわい再建支援補助金」の申請状況について尋ねたところ、「申請した」という回答が32.1%、「今後申請予定」は20.8%で、合計では52.9%となった。

業種別にみると、「申請した」と「今後申請予定」という回答の合計では、「製造業」が83.3%で最も高く、以下、「観光関連業」（70.0%）と続いている。

なお、申請しない理由では、「保険からの支払」等をあげるコメントが多かった。

図表8 「なりわい再建支援補助金」の申請状況



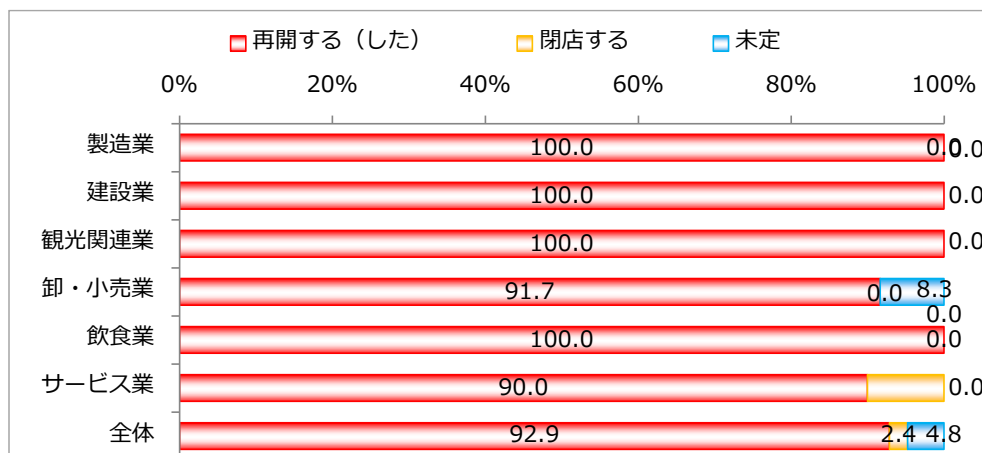
(4) 今後の予定

被災事業者に今後の事業予定を尋ねたところ、事業を「再開する（した）」という回答が92.9%で、「閉店する」が2.4%、「未定」が4.8%であった。

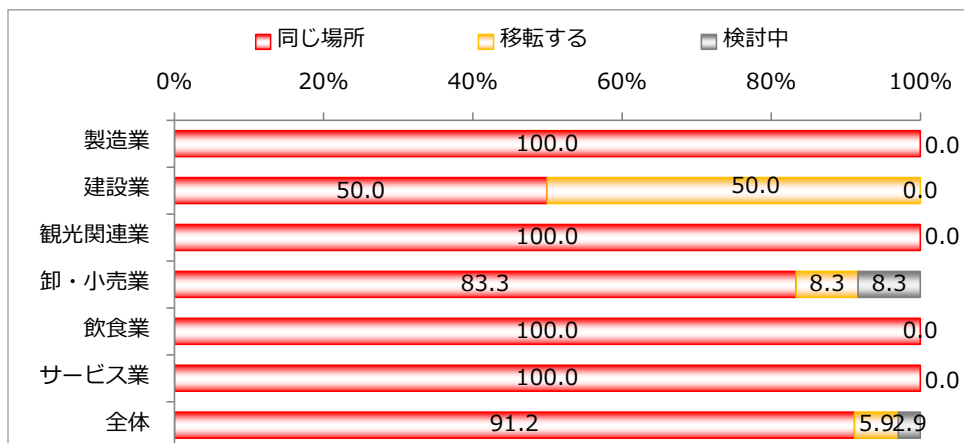
業種別では、「製造業」、「建設業」、「観光関連業」、「飲食業」ではすべての事業者で「再開する（した）」と回答している。

なお、再開場所については、「同じ場所」という回答が91.2%、「移転する」という回答が5.9%、「検討中」が2.9%となった。

図表9 今後の予定



(参考) 再開場所

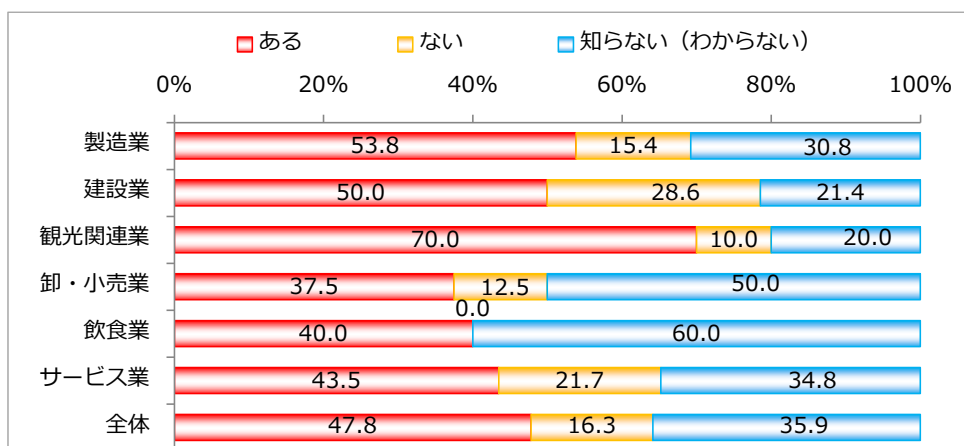


(5) 事業継続力強化計画 (BCP) への関心

事業継続力強化計画 (BCP) への関心を尋ねたところ、関心が「ある」という回答が47.8%で、半数を下回った。一方、「ない」という回答は16.3%で、「知らない (わからない)」が35.9%であった。

業種別では、「観光関連業」で関心が「ある」という回答が70.0%で最も高かった。

図表10 事業継続力強化計画 (BCP) への関心

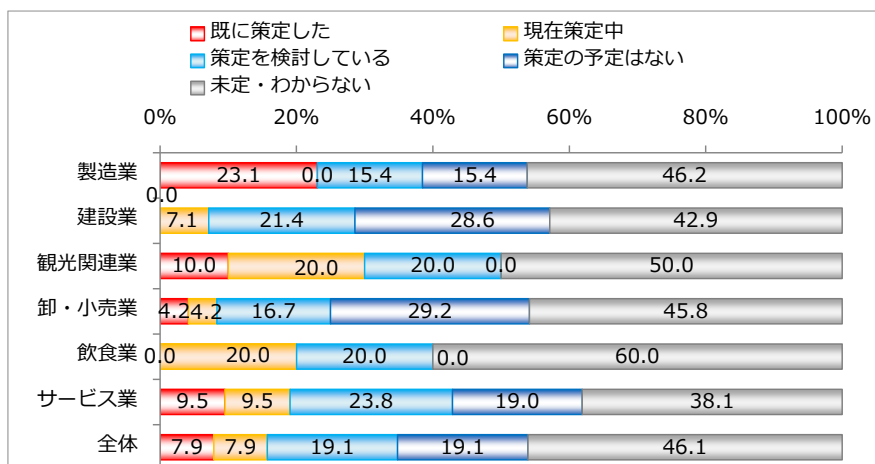


(6) 事業継続力強化計画（BCP）の取組状況

事業継続力強化計画（BCP）の取組状況を尋ねたところ、BCPを「既に策定した」という回答は7.9%で、「現在策定中」が7.9%、「策定を検討している」は19.1%であった。最も多かったのは「未定・わからない」という回答で46.1%、「策定の予定はない」は19.1%となった。

業種別では、「既に策定した」という回答は「製造業」の23.1%が最も高く、「現在策定中」と「策定を検討している」も含めた値では「観光関連業」のが50.0%が最も高かった。

図表10 事業継続力強化計画（BCP）の取組状況



5. 豪雨災害や新型コロナワクチンの摂取状況等に関する自由記述

業種	コメント
製造業	なりわい再建支援補助金の受領も済んで、つなぎ資金の銀行への返済も終わりましたが、1/4の自己負担分と以前の借入金の返済計画に苦慮しております。
	被災とコロナ禍によって営業活動が出来ずに売上が低下している。ワクチン接種は社員のほぼ全てが受けている。
建設業	大雨が続いたので数日休みを取らざるを得ない日があった。ワクチンは、半数以上が接種済である。
卸・小売業	豪雨災害では被害はありませんでしたが、新型コロナの影響でイベントが中止となり、県外客の激減で売上低下がかなり厳しい状況です。コロナワクチンの接種についてもスタッフが2～3日寝込むので大変です。
	コロナは接種済み。水害については保険を掛けていてよかった。国からの初期援助の基準には不満が残る。昨年と現時点での差があり過ぎ。
	今後再建にあたって銀行の融資が心配。
	事務ベースを2階で展開している為、直接の被害は免れましたが、お客様対応に相当な苦勞を費やしました。また、ワクチンの接種は70%は済んでいます。
	水害復興については、自分の所はどうするかの方針は決まっているが、町がどうなるのかが全く先が見えない。
	なりわい再建支援補助金の決定が非常に遅い。
	被災しましたが、支店があったのでそこを拠点として踏ん張っております。本店は解体しましたが、自分の年齢、金銭的な事などと考えると、新しく建て直したとしても、自費負担が多すぎて、取り下げたくもなります。
観光関連業	新型コロナワクチン接種は、現在社員の1割程度です。豪雨災害後リニューアルオープンしており、徐々にお客様の認知度も上がってきました。
	ワクチン2回接種後も効き目が長持ちしないとわれ、行動制限が続く。豪雨災害で立ち上がったものの、借金が増加している為、早期に業績を上げていきたい。
飲食業	豪雨災害に伴う改修がほぼ完成。なりわい再建支援補助金は今なお審査中です。今後の店づくりを今までとは違って、予約制として良質の店づくりを目指します。コロナワクチンの接種は終了しました。
	まだまだ人吉の先はぜんぜん見えていないのと、コロナに泣かされています。コロナ保険に入りました。なかなか先の見えない人吉です。
サービス業	20代から50代に早くワクチン接種を進めて欲しい。
	なりわい再建支援補助金の申請をした。資料を揃える事が困難だと思うが、全てきちりと出す様に指導がある。少しは考えて欲しい。
	まだまだ復旧していないところが多い。また、事業を断念される方も多い。コロナワクチンは、殆ど受けている、または受ける予定である。